

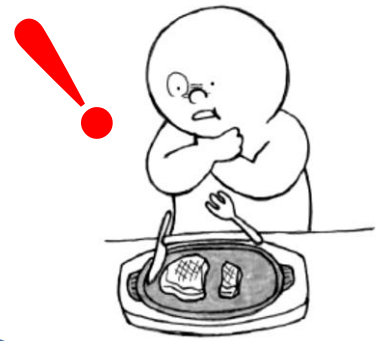
気道異物の除去方法

○口やのどなどに異物（食べ物など）が詰まっている場合に、異物を取り除く方法は、次のとおりです。

傷病者の反応(意識)がある場合

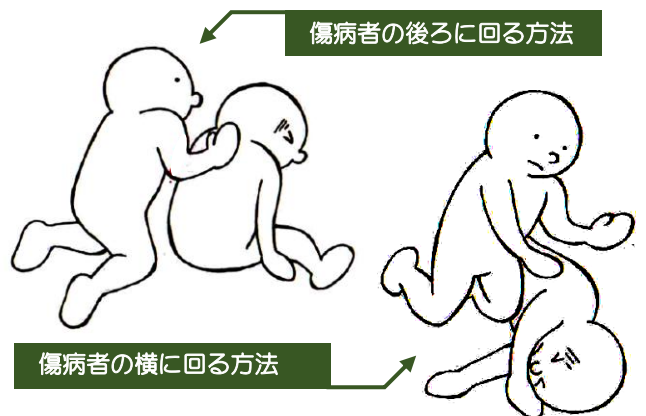
傷病者に「のどが詰まったの？」とたずね、声が出せず、うなずくようであれば窒息と判断し、直ちに行動しなければなりません。

- 傷病者が咳をすることが可能であれば、できるだけ咳を続けさせます。強い咳により自力で排出できることもあります。
- 119番通報を周りの人に依頼するとともに、まず背部叩打法を試みて、効果がなければ腹部突き上げ法を試み、異物が取り除けるか、傷病者の反応がなくなるまで異物の除去を試みます。
- 救助者が一人の場合、傷病者に反応がある間は119番通報より異物除去を優先して行います。



①背部叩打法

- ・傷病者が立っている場合や座っている場合は傷病者の後方から手のひらの付け根で肩甲骨の間を力強く、何度も連続してたたきます。



②腹部突き上げ法

- ・傷病者の後ろからウエスト付近に手を回します。
- ・片手で握りこぶしを作り、その親指側を傷病者のへそより少し上に当てます。
- ・その手をもう一方の手で握り、すばやく手前上方に向かって圧迫するように突き上げます。



- ・明らかに妊娠していると思われる女性や高度な肥満者には、①の背部叩打法のみを行い②の腹部突き上げ法は行いません。
- ・横になっている傷病者が自力で起き上がれない場合は①の背部叩打法を行います。
- ・腹部突き上げ法を行った場合には、腹部の内臓をいためている可能性があるため、行ったことを到着した救急隊員に伝えてください。なお、119番通報前に異物が取れた場合でも病院での診察は必要です。

傷病者の反応がない場合

○傷病者に反応がない場合、あるいは最初は反応があつて応急手当を行っている際にぐったりして反応がなくなった場合には、直ちに通常の心肺蘇生の手順を開始します。

- 助けを呼ぶことや 119 番通報がまだ済んでいない場合には直ちにそれを行います。AEDも手配します。
- 心肺蘇生を開始します。
- 心肺蘇生を行っている際に、口の中に異物が見えた場合には、異物を取り除きます。
- 口の中に異物が見えない場合には、やみくもに口の中に指を入れて探らないでください。また、異物を探すために胸骨圧迫を長く中断しないでください。

